

いまじゆくおおやち  
今宿大谷地遺跡

遺跡番号 平成23年度新規登録  
調査回数 第1次  
所在地 山形県北村山郡大石田町大字今宿字大谷地  
北緯・東経 38度57分30秒・140度40分18秒  
調査委託者 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所  
起因事業 東北中央自動車道(東根～尾花沢)  
調査面積 450㎡  
受託期間 平成23年9月27日～平成24年3月31日  
現地調査 平成23年10月18日～11月17日  
調査担当者 渡辺和行(現場責任者)・向田明夫・後藤枝里子  
調査協力 大石田町教育委員会・村山教育事務所  
遺跡種別 集落跡  
時代 縄文時代  
遺構 土坑・柱穴・ピット  
遺物 縄文土器・石器 (文化財認定箱数: 6箱)



図1 遺跡位置図(1:50,000)

今宿大谷地遺跡は、大石田町中心部から南東におよそ3.5km、尾花沢市との境界付近に位置し、周囲からは数メートルほどの高さを測る小さな丘の裾に新たに確認された、縄文時代の遺跡である。

今回の調査は、東北中央自動車道の延長工事に伴うもので、約450㎡が対象となった。現場は5段を数える段丘状になっていたが、重機により表土を取り去ったところ、段丘は近現代の盛り土によるものとわかり、当時は緩やかな斜面になっていた様子が確認できた。

遺構は、柱穴や土坑あるいは性格不明遺構が何基か検



図2 調査区全景(直上より俯瞰 上が北)

出され、土器片の集中している様子等は観察できたものの、住居跡等は確認できなかった。遺物は、縄文時代中期と思われる土器片が多数と、石皿や石鏃等の石製品数点<sup>せきぞく</sup>が出土している。おそらくは生活の拠点となるべき場所が近隣にあり、そこからの流れ込み、あるいは持ち込まれたものと考えられる。

生活拠点の可能性が考えられる丘の上部(図2より北側の部分)は、残念ながら近現代の耕作地の造成により大きく削平を受けている模様で、今発掘に先立つ予備調査でも遺構の存在は確認できていない。